

宮城県感染症発生動向調査情報

令和04年06月09日発行

2022.5.30 ~ 2022.6.5 - 第22週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病	保 健 所					仙 台 市	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第19週	第20週	第21週	第22週
水痘	1 0.25					4 0.15	5 0.09	121				
流行性耳下腺炎						3 0.11	3 0.05	31				
感染性胃腸炎	60 15.00	63 6.30	57 8.14	56 7.00		144 5.33	380 6.55	6,246	◎	◎	◎	◎
手足口病						6 0.22	6 0.10	91				
伝染性紅斑						2 0.07	2 0.03	24				
突発性発しん	1 0.25	6 0.60	9 1.29	8 1.00	1 0.50	12 0.44	37 0.64	503	○	○	○	○
ヘルパンギーナ							0 0.00	63				
インフルエンザ							0 0.00	14				
咽頭結膜熱	1 0.25	1 0.10	3 0.43			7 0.26	12 0.21	114				
流行性角結膜炎		3 1.00		1 1.00		1 0.17	5 0.42	41				
急性出血性結膜炎							0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.50			10 1.25			12 0.21	344			○	レ
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	3				
無菌性髄膜炎							0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎							0 0.00	3				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症							0 0.00	92				
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	1				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1				1						
	川崎病											
	不明発疹症											

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

大崎管内 男性2名(第17週)
仙台管内 女性1名
結核(無症状病原体保有者)
大崎管内 男性1名(第18週)
仙台管内 男性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: レジオネラ症

石巻管内 女性1名
仙台管内 男性1名, 女性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症

仙台管内 男性1名(*Klebsiella aerogenes*, 第21週)
女性1名(*Klebsiella aerogenes*)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

大崎管内 男性1名
仙台管内 女性1名(第21週)

侵襲性肺炎球菌感染症

仙台管内 女児1名*

梅毒

大崎管内 女性1名
仙台管内 男性1名(第21週), 男性1名

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症

仙南管内 男性41名, 女性37名
塩釜管内 男性154名, 女性159名
大崎管内 男性23名, 女性25名
石巻管内 男性34名, 女性42名
気仙沼管内 男性9名, 女性10名
仙台管内 男性645名, 女性622名

*女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

警報・注意報の発令はありません。

【病原体検出情報】

~宮城県保健環境センター~

新型コロナウイルス感染症患者より

管内	第22週採取分	SARS-CoV-2	件数
仙南管内	第22週採取分	SARS-CoV-2	1件
塩釜管内	第22週採取分	SARS-CoV-2	2件
石巻管内	第22週採取分	SARS-CoV-2	14件
気仙沼管内	第22週採取分	SARS-CoV-2	1件

~仙台医療センターウイルスセンター~

	確 定	中 間 報 告	
	第19週採取分 (5.9~5.15)	第20週採取分 (5.16~5.22)	第21週採取分 (5.23~5.29)
アデノウイルス	0件	0件	1件

4. 今週のコメント

【感染性胃腸炎】

県内の患者報告数は4週連続で増加しており、新型コロナウイルス感染症流行以前の同時期と同様の水準で推移しています。サボウイルスによる感染性胃腸炎が多い傾向ですが仙台市においてはノロウイルスも検出されています。サボウイルス及びノロウイルスはアルコール消毒では効果が不十分なため、感染者の吐物や便などを処理する場合には、マスクや手袋を着用するとともに、処理物が飛び散らないよう注意し、次亜塩素酸ナトリウム溶液(薄めた塩素系漂白剤)で消毒を行ってください。また、手洗いなどの基本的な予防対策に努めてください。

【サル痘】

サル痘はオルソポックスウイルス属のサル痘ウイルスによる急性発疹感染症で中央アフリカから西アフリカにかけて流行しています。日本ではサル痘は感染症法上の4類感染症であり、これまで輸入症例を含め報告はありません。しかし、2022年5月以降、サル痘常在国からの輸入症例以外でのヒト-ヒト感染例の報告が、欧州を中心に複数の国で相次いでいます。接触感染や飛沫感染を主体とする感染経路が考えられていますが、国境を越えた交流での感染伝播も報告されているため、今後日本においてもサル痘を疑う患者が報告される可能性があります。今後の動向を注視するとともに、各医療機関におかれましてはサル痘が疑われる患者を診察された場合、最寄りの保健所にご相談をお願いします。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

